経済指標ウォッチャー

米ISM景況感指数5月 製造業は上昇、非製造業は低下

価格指数が低下。インフレは落ち着きつつあるか？

ISM景況感指数とは？
全米供給管理協会（ISM）が製造業・非製造業の購買担当者へのアンケート調査結果をもとに、毎月公表している米国企業の景況感を示す指標のひとつ。製造業が毎月第1営業日、非製造業が毎月第3営業日に公表される。50が景気の拡大・後退の分岐点であり、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気後退を示す。

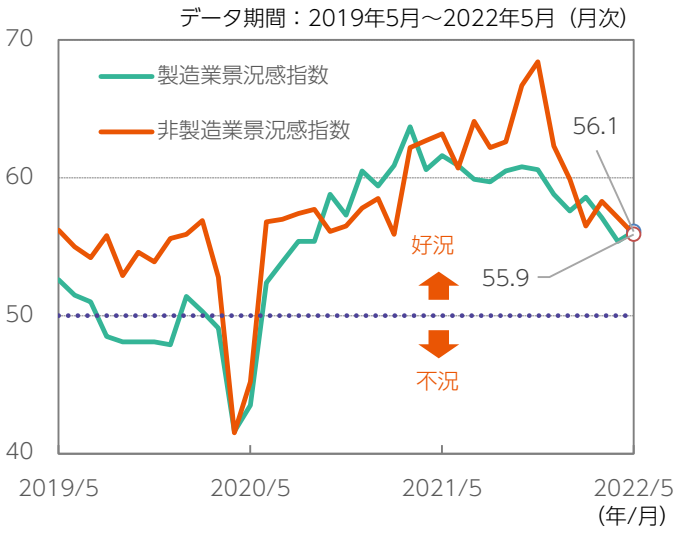
景況感は製造業は上昇、非製造業は低下

全米供給管理協会(ISM)が1日に発表した、5月の製造業景況感指数は56.1と前月の55.4から上昇しました。事前予想の54.5を上回りました。3日発表の5月の非製造業景況感指数は55.9と前月の57.1から低下し、事前予想の56.5も下回りました(図表1)。

海外からの注文が増加したことなどから製造業の景況感は上昇したものとみられます。一方、ウクライナ情勢の深刻化や物価高などの影響を受けて非製造業の景況感は悪化したものと思われます。

業種別でみると、製造業は18業種中、衣料や機械など15業種、非製造業は18業種中、鉱業や建設・不動産など14業種で業況が改善しつつあることが報告されています。

図表1：ISM製造業・非製造業景況感指数の推移

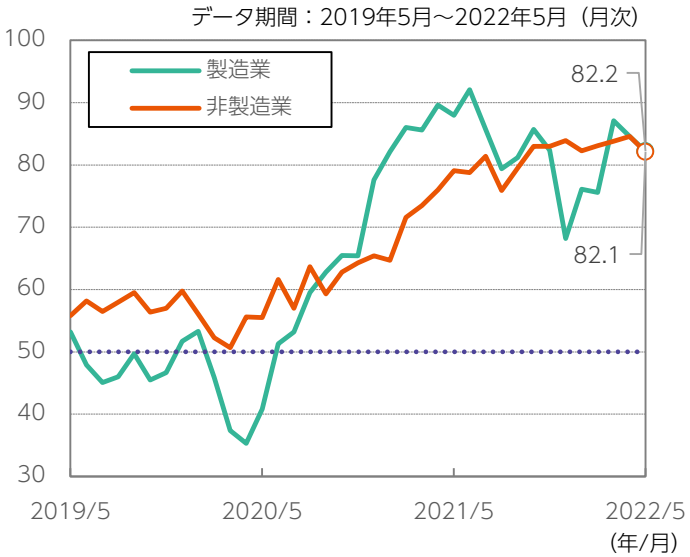


価格指数は高水準であるものの低下基調

景況感指数を構成する指数のうち『価格指数』は、製造業が82.2(前月比－2.4)、非製造業が82.1(前月比－2.5)といずれも前月より低下しました（図表2）。5月に発表された消費者物価指数(CPI)やFRB(米連邦準備制度理事会)がインフレ指標としている変動の大きい食品とエネルギーを除くコア個人消費支出価格指数もピークから低下しており、インフレ率はピークを越えたとの見方もあります。

FRBは6月と7月のFOMC(米連邦公開市場委員会)でインフレ抑制のために2会合連続で0.5％の利上げを実施するとの見方が優勢になっています。足元の先物市場から算出される2022年末の政策金利は2022年内にあと2％程度の利上げが実施されることが織り込まれています。しかし、利上げが功を奏し、徐々にインフレ率が低下基調となれば、9月以降利上げペースが緩やかになることも考えられます。

図表２：ISM製造業・非製造業景況感価格指数の推移



出所）図表1、2はブルームバーグのデータをもとに
ニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

＜設定・運用＞

ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY ASSET MANAGEMENT

商 号 等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第369号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター　0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ　https://www.nam.co.jp/